

スウェーデンに関しては、歯科先進国らしいというイメージしかありませんでしたが、長期の海外研修ということで、そう何度も行ける機会はないだろうと思い、今回の研修に参加する事にしました。

う蝕の治療介入のタイミングや、歯周病に関する論文、スウェーデンの歯科保健制度など、様々なことを学ぶことができました。

しかし中でも一番印象に残ったのは、治療方針をどのように決めるのか？EBMをどのように行っていけばいいのか？という講義です。

専門家の意見を聞くのでも、強い指導者に従うのでもなく、read think discuss 信頼性の高い論文を読み、考え、議論して決めるというシンプルな答えは、とても納得できるものでした。

そして、スウェーデンの実際の歯科医療に触れて、根幹となる、歯科治療に対する取り組み方、姿勢、理念、哲学は、未だに日本に残る、場当たりの診察の現状とは大きく違うと感じました。

患者にとっての利益は何かを、自分で考えるということを大切にして、これからの診療に活かしていきたいと思います。